

SPAC プレゼンツ 演劇出前塾 2022 年度 開催校 募集

～ 演劇部で出張ワークショップいたします！～

SPAC-静岡県舞台芸術センターでは、中高生による従来の枠にとらわれない独創的な作品の創出や豊かな創造活動につなげることを目的に、平成 30 年度より中学高校演劇支援事業として「SPAC プレゼンツ 演劇出前塾」をスタートいたしました。

本プログラムでは、SPAC の専属俳優が劇場を飛び出し、各学校の演劇部を訪れ、特別指導を行います。高い身体性と広い見識をもった俳優が直接指導を行うことで、作品を創作していく上での新しい気づきやヒント、演劇部の皆さんが抱えている課題の解決につながることを目指しています。今年度も、本ワークショップの開催校を募集いたします。ご応募お待ちしております。

【募集概要】

- (1) 対 象 : 静岡県内の中学高校の演劇部 (2) 費用 : 無料
(3) 開催時期 : 2022 年 7 月 9 日(土)～ 23 年 3 月 12 日(日)のうちのどこか1日
(4) 申込期間 : 2022 年 6 月 13 日(月)～ 23 年 2 月 19 日(日)
※開催希望の 3 週間前までにお申し込みください。受付は先着順となります。
(5) 申込方法 : 裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の宛先まで郵送・FAX でご提出いただくか、メールにてお申し込みください。実施内容については、お申し込み後に SPAC よりご連絡いたします。

※新型コロナウイルス感染予防ガイドライン(SPAC 作成)に則り、実施いたします。事前にお送りするガイドラインをご確認願います。

【ワークショップ 実施例】 ※講師は俳優1名となります。制作スタッフが同行し、アシスタントを務めます。

演技と役を深める ワークショップ

短いテキストを用いて、設定を変えながらセリフのキャッチボールを行い、同じ場面を何通りも演じることを通して、[自分の演技]や[自分と相手との関係性]を見つめなおすと同時に、役へのアプローチ方法や、演技のバリエーションを増やす方法を学びます。また、[セリフ・役への理解]も深めていきます。

所要時間：120分～180分 対象人数：1～30名程度



舞台での身体を学ぶ ワークショップ

SPACの俳優が日々行っている身体訓練をベースに、初心者でも取り組めるプログラムを紹介します。身体感覚（丹田・呼吸・重心など）にフォーカスし、自分の身体を新たな視点で探求します。また、【歩く・走る・寝転ぶ・跳ぶ・回る】などシンプルな日常動作から身体表現につなげていくプログラムもあります。

所要時間：120分～180分 対象人数：1～30名程度



【お問い合わせ・お申し込み】 SPAC-静岡県舞台芸術センター：雪岡、坂中（芸術局 制作部）

〒422-8019 静岡県駿河区東静岡 2 丁目 3-1

URL : <https://spac.or.jp>

TEL : 054-203-5730

FAX : 054-203-5732

E-mail : recafe@spac.or.jp

【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） | 独立行政法人 日本芸術文化振興会

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER
芸術総監督 宮成 聡
スパック = 静岡県舞台芸術センター



「SPAC プレゼンツ 演劇出前塾」申込用紙

学校名	顧問		
	学校	／	様
TEL／FAX／メールアドレス			
／			
ご希望の開催時期と曜日・時間をご記入ください。 記入例) 2月下旬～3月上旬の平日 16:00～18:30 など 第一希望: 第二希望: 第三希望:			
ワークショップ参加人数 / 開催場所をご記入ください。 ※換気ができ、講師・参加者同士のディスタンスがとれる広いスペースが望ましいです。 1年生：男子 名 / 女子 名 開催場所： 2年生：男子 名 / 女子 名 広さ： 3年生：男子 名 / 女子 名 床について（畳・タイルなど）：			
普段の稽古時の服装をご記入ください。（ワークショップ当日は動きやすい服装でのご参加をお願いします。） 服装： 靴：			
SPAC の作品を観たことはありますか？ はい （作品名： ） / いいえ			
演劇ワークショップを受けたことはありますか？ また、どのような内容でしたか？ はい （「演劇出前塾」 ・ その他【内容： 】） / いいえ			
今回のワークショップで取り上げてみたいトピックに○をしてください。（原則1つ、多くても2つまで） 1. 発声・滑舌（発声練習、呼吸法、滑舌の改善、など） / 2. 身体（動きの癖の改善、姿勢、軸のある身体づくり、など） 3. 言葉（セリフの癖の改善、発語時のポイント、観客に届くセリフ、など） / 4. 演技（役づくり、感情とセリフの関係、相手役との関係のつくり方、など） / 5. 演出（台本読解、場のつくり方、演技のまとめ方、など） / 6. 部活動全般（基礎練習メニューの改善、演劇史、効果的な稽古方法、など）			
現在、部活動で使用している（または今後使用する）台本や上演を予定している作品はありますか？ はい （台本・作品： ） / いいえ			
「はい」と回答された方にお聞きします。今回のワークショップで題材とする台本について、現在使用している（または今後使用する）台本を希望されますか？ ※「はい」の方は、事前に台本の提供（データか紙）が可能かお知らせください。 はい / いいえ （講師の俳優に任せる）			
部活動での目標や課題、普段の雰囲気、ワークショッププログラムへのご要望などをお書きください。（必須記入） ----- ----- ----- -----			

備考欄